

京都府山林種苗緑化樹組合の視察 (コンテナ苗)

緑化センターでは、12月21日に京都府山林種苗緑化樹組合（参加者10名）を対象にコンテナ苗栽培の視察研修を行いました。

本研修では、職員がクロマツやスギ、ヒノキのコンテナ栽培の予備試験で得た散水や遮光、施肥のポイント及び注意点などを説明しました。府内における林業用のコンテナ苗の普及はこれからですが、参加者の高い関心が窺えました。

コンテナ苗栽培は、施設の規模や立地環境などにより用土の配分や散水などが異なる場合があります。今後府内でコンテナ苗栽培に取り組む生産者の出現に備えて様々な栽培方法に取り組み、普及させるためのノウハウを蓄積していきます。



研修室内でコンテナ苗栽培の説明



栽培施設でスギとマツのコンテナ苗を説明



Mスターコンテナ
(クロマツ：平成27年春播種、秋植替)



マルチキャビティコンテナ
(スギ：平成27年春直播種)



マルチキャビティコンテナで
平成27年春～秋養成のスギの根